

6 指導計画（全6時間）

時	1	2	3	4	5	6	
学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・のこぎりの正しい使い方を確認し、木を固定する道具（Cクランプ）の役割を知る。 ・様々な角度を変えながら、大小の木片を切り出す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・切った木片を紙ヤスリで磨く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・木片を積んだり、並べたりしながら、組み合わせを考え、形を作り出す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・形を見直し、修正があれば変える。 ・必要な部品をつくり、加える。 ・作業の手順を考えて、接着していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発展材を使って、装飾を加えていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品を展示し、みんなで見賞して楽しむ。 	
材料・用具	角柱（3×4×60cm）のこぎり、Cクランプ	紙ヤスリ	ガムテープ	木工用接着剤、ベニヤ板	檜棒等の木材、ヤスリ、紙ヤスリ	作品、作品カード	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・身体感覚を十分に働かせて、木材を切る活動を楽しむ。 ・のこぎりの安全で適切な扱い方や、接着剤の効果的な使い方を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・木肌の美しさや温かみを感じ取り、愛着をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・木材の木の口の合わせ方やつなげる方向などの組み合わせ方を工夫して、楽しみながら発想を広げ、動きのあるおもしろい形をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・しっかりと接着するための木工用接着剤の扱い方や補助の方法を知り、工夫して使う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの素材の特性や色の特徴を考え、表したいものをより良くするために合った材料を選んでつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や友だちの作品に関心をもって見、よさを感じとる。 	
評価基準	関心	<ul style="list-style-type: none"> ・身体感覚を十分に働かせて、木材を切る活動を楽しんでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・木肌の美しさや温かみを感じ取り、愛着をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な操作してできる形を楽しみながら、気に入る形を見つけようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧に接着しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の作品に何が合うのかよく考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで自分の作品について話したり、友だちの作品を楽しんで見たりしている。
	発想	<ul style="list-style-type: none"> ・切る角度を考え、様々な形の薄片をつろうとしている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・小片の組み合わせ方を工夫し、形のよさやおもしろさを見つけている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・表したいものがより良くなるような装飾を考え、必要に応じて材料を選んで使っている。 	
	技能	<ul style="list-style-type: none"> ・のこぎりの安全で適切な扱い方や、接着剤の効果的な使い方を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・紙ヤスリを使って、なめらかな面をつくる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・しっかりと接着できる。 		
	鑑賞						<ul style="list-style-type: none"> ・自分作品について工夫したことや気に入っているところを話したり、友だちの作品をよく見てよさを見つけたらしている。

7 本時のねらい

木材の木口の合わせ方やつなげる方向などの組み合わせ方を工夫して、楽しみながら発想を広げ、動きのあるおもしろい形をつくる。

8 本時の展開 (2 / 6)

時間	ねらい	学 習 活 動	指導・援助の留意点						
10	<p>活動内容と課題を明確にする。</p> <p>いろいろ操作し、動きのあるおもしろい形を見つけ出す。</p>	<p>1 学習内容と課題の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 師範を見ながら、小片の木口様々な組み合わせを考え、おもしろい形を作ることをつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>いろいろな組み合わせ方を試して、動きのあるおもしろい形を見つけよう。</p> </div> <p>2 各自、木片を積んだり、並べたりしながら、組み合わせを考え、形を作り出す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小片の切り口を切る前の一本の木材の形になるように並べておく。 ・ 木口の合わせ方を変えて見せ、形が様々に変化することに気づかせる。 ・ 縦につなぐだけでなく、横につなげたり、並べたりする方法もあることを示す。 ・ 「動きのある」形の例を具体的に示す。[曲がる、反る、 広がる、ねじる] ・ 評価規準を示す。 ・ ガムテープを使って仮に留める。 						
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">A</th> <th style="text-align: center;">B</th> <th style="text-align: center;">C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主体的に新しい形を見つけようと、様々な組み合わせ方を試す。 ・ 立体的に形を作っていく。 ・ さらに変化のあるものを求めて、收拾がつかなくなることもある。 ・ 立体造形としての形のおもしろさにも気づく力がある。 <p>見守り、迷っているときに声をかけ、しようとしていることを認め、助言する。</p> <p>動きのおもしろさに注目させ、抽象的な形でもすてきなことに気づかせる。</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主体的に新しい形を見つけようと、様々な組み合わせ方を試す。 ・ 立体的に形を作っていく。 ・ 具象的な形を求める。 にこだわりがあるので、固執する可能性がある。 <p>こだわりは認め、動きを立体的に変化のあるおもしろいものになるよう助言する。</p> <p>違う形をほしがったら、使ってよいことを知らせる。</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 縦方向のみに意識がいたり、固めてしまったり、一つのことに意識が向きやすい。 ・ イメージが持ちにくく、参考作品や助言などに影響されやすい。 ・ すべきことが分かると、集中して根気よく取り組む。 <p>最初のうち助言は、形に広がりを持たせどンドンつなげていくよう励まし、具象お指す言葉は出さない。</p> <p>たくさんつなげたことをほめ、気に入っているところを聞き、認め励ます。</p> <p>AやBの様子を参考にさせる。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主体的に新しい形を見つけようと、様々な組み合わせ方を試す。 ・ 立体的に形を作っていく。 ・ さらに変化のあるものを求めて、收拾がつかなくなることもある。 ・ 立体造形としての形のおもしろさにも気づく力がある。 <p>見守り、迷っているときに声をかけ、しようとしていることを認め、助言する。</p> <p>動きのおもしろさに注目させ、抽象的な形でもすてきなことに気づかせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主体的に新しい形を見つけようと、様々な組み合わせ方を試す。 ・ 立体的に形を作っていく。 ・ 具象的な形を求める。 にこだわりがあるので、固執する可能性がある。 <p>こだわりは認め、動きを立体的に変化のあるおもしろいものになるよう助言する。</p> <p>違う形をほしがったら、使ってよいことを知らせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 縦方向のみに意識がいたり、固めてしまったり、一つのことに意識が向きやすい。 ・ イメージが持ちにくく、参考作品や助言などに影響されやすい。 ・ すべきことが分かると、集中して根気よく取り組む。 <p>最初のうち助言は、形に広がりを持たせどンドンつなげていくよう励まし、具象お指す言葉は出さない。</p> <p>たくさんつなげたことをほめ、気に入っているところを聞き、認め励ます。</p> <p>AやBの様子を参考にさせる。</p>	
A	B	C							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 主体的に新しい形を見つけようと、様々な組み合わせ方を試す。 ・ 立体的に形を作っていく。 ・ さらに変化のあるものを求めて、收拾がつかなくなることもある。 ・ 立体造形としての形のおもしろさにも気づく力がある。 <p>見守り、迷っているときに声をかけ、しようとしていることを認め、助言する。</p> <p>動きのおもしろさに注目させ、抽象的な形でもすてきなことに気づかせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主体的に新しい形を見つけようと、様々な組み合わせ方を試す。 ・ 立体的に形を作っていく。 ・ 具象的な形を求める。 にこだわりがあるので、固執する可能性がある。 <p>こだわりは認め、動きを立体的に変化のあるおもしろいものになるよう助言する。</p> <p>違う形をほしがったら、使ってよいことを知らせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 縦方向のみに意識がいたり、固めてしまったり、一つのことに意識が向きやすい。 ・ イメージが持ちにくく、参考作品や助言などに影響されやすい。 ・ すべきことが分かると、集中して根気よく取り組む。 <p>最初のうち助言は、形に広がりを持たせどンドンつなげていくよう励まし、具象お指す言葉は出さない。</p> <p>たくさんつなげたことをほめ、気に入っているところを聞き、認め励ます。</p> <p>AやBの様子を参考にさせる。</p>							
25		<p>3 手を止め、お互いの形を見合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参考になるような、形のおもしろさを評価し、広げる。 ・ 思考をとぎれさせないように、頃合いを見計らって行う。子どもたちの様子によっては行わず、個々に、見に行かせ、評価は、済んでから行う。 ・ 評価内容は板書しておき、拳手で確認し、おもしろい形だと思っているところを発表させる。 						
40		<p>4 さらに制作を進める。</p>							
43	自分の活動を振り返る。	<p>5 自己評価をする。</p>							
45		<p>6 後片づけをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 画板の上で作業し、そのまま保管する。 						

・ 楽しかったですか。
 すごく楽しかった、楽しかった、あまり楽しくなかった
 ・ 組み合わせ方を変えてみたりしている工夫ができましたか。
 すごくいっぱい試した、試してみた、できなかった
 ・ 動きのあるおもしろい形ができましたか。
 動きのあるおもしろい形ができた、おもしろい形だけど少し直したい、できなかった